

# ジェスチャーと外国語教育：フランス語学習者の事例

木田 剛  
(筑波大学)

第二言語（L2）学習者のなかには「電話で話すことが一番難しい」と思っている人が少なくない。この問題は電話では相手が見えないこと、つまり対人コミュニケーションにおいて視覚的な手掛かりがないことに由来すると推測される。しかし、談話理解と視覚情報の関係に関する実証研究はほとんど行われてこなかった。言語理解プロセスの解明は、外国人の社会生活に資するだけでなく、L2 習得プロセスとの関連性が高いため、第二言語習得研究や外国語教育に寄与する。本発表では、対人コミュニケーションにおける視覚的な情報、とくに身振りやジェスチャーが、フランス語 L2 談話理解において果している役割を検証したい。以下の項目を取り扱う。1) 第二言語習得研究における言語理解について、2) 外国人の談話理解プロセスについて、3) ジェスチャーと焦点化現象と省略の関係、4) ジェスチャーと比喩表現の理解の関係、5) ジェスチャーと談話の機能的側面、6) ジェスチャーと談話外領域の関係、7) 外国語教育に関する示唆。